平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年７月31日

上 場 会 社 名　　株式会社ノバレーゼ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　2128　　URL　http://www.novarese.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）浅田剛治
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）田中雅樹　　（TEL）03(5524)1122
四半期報告書提出予定日　　平成25年８月12日　　配当支払開始予定日　　平成25年９月３日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第２四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	5,826	13.4	140	△39.8	134	△43.0	△72	—
24年12月期第２四半期	5,139	1.0	233	△32.0	236	△37.7	△18	—

（注）　包括利益　25年12月期第２四半期　△72百万円（ — %）　24年12月期第２四半期　△17百万円（ — %）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年12月期第２四半期	△7.03	—
24年12月期第２四半期	△1.78	—

（注）　当社は、平成25年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第２四半期	11,072	5,537	50.0
24年12月期	10,466	5,744	54.9

（参考）　自己資本　25年12月期第２四半期　5,537百万円　　24年12月期　5,744百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年12月期	—	1,200.00	—	1,300.00	2,500.00
25年12月期	—	1,200.00			
25年12月期(予想)			—	13.00	1,213.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成25年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、25年12月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。
株式分割を考慮しない場合の25年12月期(予想)の期末配当金は1,300円となります。

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	13,500	14.8	1,400	17.8	1,400	17.2	700	35.1	68.05

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成25年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、平成25年12月期の連結業績予想における１株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　有

④　修正再表示　：　無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は【添付資料】４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	10,717,200株	24年12月期	10,717,200株
②　期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	430,600株	24年12月期	430,600株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	10,286,600株	24年12月期２Ｑ	10,286,600株

（注）当社は、平成25年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（決算補足資料の入手方法について）

決算補足資料は平成25年８月５日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

※　当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
・平成25年８月５日・・・・・・アナリスト向け決算説明会

※　上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成25年１月１日～平成25年６月30日）におけるわが国経済は、海外経済の減速懸念があるものの、新政権下での大胆な金融緩和をはじめとする経済政策への期待感から円安、株価上昇および個人消費の持ち直しが見られるなど回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「Rock Your Life　世の中に元気を与え続ける会社でありたい」との経営理念のもと、重点施策について取り組みを行ってまいりました。

１月には、婚礼準備支援システム「ＷＥＤＯ」やカタログギフト「ＴＩＭＥＬＥＳＳ」を婚礼事業者向けに提供することを目的に株式会社タイムレスを設立し、これまでの個人向け営業中心のＢtoＣビジネスに加えて、同業社様を通じて当社の商品・ノウハウを、これまでは接点のなかった個人のお客様へ提供する機会を確保する法人向けのＢtoＢビジネスを本格的に開始いたしました。また、新たな取り組みとして、当社施設の認知度や平日稼働率の向上を見込み、全国９ヶ所の披露宴会場にてビアガーデン・ビアホール営業を開始いたしました。

店舗展開については、ブライダル事業において、国の重要文化財である歴史的洋風建築「旧桜宮公会堂」（大阪市北区）の保存に協力しつつ、４月には当社のノウハウを注入することで、結婚式場として生れ変わりました。また、大正初期に造成された金沢市指定文化財である「辻家庭園」（石川県金沢市）を婚礼施設として12月に開業すべく準備に取り組んでまいりました。

レストラン特化型事業においては、当連結会計年度中に都内で開業を予定しているフレンチレストランや韓国ソウル市内における、セラフィーナブランドのイタリアンレストランの開業準備をすすめるなど今後の収益拡大に向けた取り組みを行ってまいりました。

これらの結果、ブライダル事業における婚礼プロデュース部門の受注組数は1,786組（前年同期比19.1％増）となり、受注残組数も2,186組（前年同期比23.2％増）と大きく増加いたしました。また、売上高についても、前下半期の受注組数が回復し当期への繰越受注残高が増加したこともあり、当第２四半期連結累計期間の売上高は5,826百万円（前年同期比13.4％増）となりました。また、利益面においては、一部店舗について受注回復に向けた施策の一環としての広告戦略の見直しや、「旧桜宮公会堂」の開業に伴うイニシャルコストが収益獲得に先行して発生し販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益140百万円（前年同期比39.8％減）、経常利益134百万円（前年同期比43.0％減）となり、特別損失において一部の店舗に係る固定資産について減損損失を148百万円認識したことにより四半期純損失72百万円（前年同期は18百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当第２四半期連結会計期間末における当社グループが展開する店舗数は以下のとおりであります。

セグメント	ブライダル事業				レストラン特化型事業
出店形式	ゲストハウス	中価格帯施設	ドレスショップ	提携施設	
店舗数	22	3	15	2	3

セグメント別の状況は次のとおりであります。

（ブライダル事業）

ブライダル事業においては、前連結会計年度に開業したゲストハウス「横浜モノリス」、「天神モノリス」および「ジェームス邸」が通期で寄与し、既存店舗の受注回復もあることから、売上高は5,625百万円（前年同期比12.0％増）となり、セグメント利益は721百万円（前年同期比15.9％減）となりました。

（レストラン特化型事業）

レストラン特化型事業においては、前連結会計年度に開業した「セラフィーナ　ニューヨーク　丸の内店」の営業が寄与し、売上高は200百万円（前年同期比72.4％増）となり、セグメント損失は62百万円（前年同期は63百万円のセグメント損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産総額は11,072百万円となり、前連結会計年度末に比べ606百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が258百万円、固定資産において主に婚礼披露宴施設に係る有形固定資産が193百万円、投資その他の資産その他における繰延税金資産が74百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債総額は5,534百万円となり、前連結会計年度末に比べ812百万円増加しました。主な要因は、法人税の支払いにより未払法人税等が327百万円、仕入代金の支払により買掛金が122百万円減少しましたが、短期借入金が800百万円、設備投資に係る資金調達として長期借入金が307百万円（１年内返済予定の長期借入金含む）、挙式・披露宴に係る前受金が183百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産総額は5,537百万円となり、前連結会計年度末に比べ206百万円減少しました。主な要因は、四半期純損失を72百万円計上したことと、前事業年度の期末配当金の支払により133百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,263百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円増加しました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は265百万円（前年同期比7.2％増）となりました。主な要因は、法人税等の支払による支出が423百万円あったものの、減価償却費530百万円および前受金の増加額が183百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は979百万円（前年同期は788百万円の使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出850百万円および無形固定資産の取得による支出88百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は973百万円（前年同期比5.2％減）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出522百万円および配当金の支払額133百万円があったものの、長期借入れによる収入830百万円および短期借入金の増加額800百万円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度（平成25年12月期）の業績については、平成25年７月29日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（注）平成25年１月４日付で、会社分割（簡易新設分割）の方法により、当社の100％子会社として、ギフト販売事業等を行う株式会社タイムレス（資本金50百万円）を設立し、連結の範囲に含めております。なお、株式会社タイムレスは特定子会社には該当いたしません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,004,729	1,263,454
売掛金	157,359	108,134
商品	88,335	102,373
原材料及び貯蔵品	102,084	96,407
その他	298,678	285,452
流動資産合計	1,651,187	1,855,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,164,914	6,207,264
土地	848,690	848,690
建設仮勘定	133,931	240,451
その他（純額）	366,855	411,061
有形固定資産合計	7,514,391	7,707,468
無形固定資産	122,192	186,047
投資その他の資産		
差入保証金	671,634	712,101
その他	507,130	611,296
投資その他の資産合計	1,178,764	1,323,398
固定資産合計	8,815,349	9,216,914
資産合計	10,466,536	11,072,735
負債の部		
流動負債		
買掛金	564,213	441,600
短期借入金	200,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	923,290	1,003,129
未払法人税等	428,646	101,294
前受金	545,702	729,534
賞与引当金	65,690	64,026
その他	757,559	706,873
流動負債合計	3,485,101	4,046,457
固定負債		
長期借入金	952,521	1,179,692
資産除去債務	214,039	235,646
その他	70,593	73,052
固定負債合計	1,237,154	1,488,391
負債合計	4,722,255	5,534,848

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	608,825	608,825
資本剰余金	468,373	468,373
利益剰余金	4,769,978	4,563,919
自己株式	△109,909	△109,909
株主資本合計	5,737,268	5,531,209
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,012	6,677
その他の包括利益累計額合計	7,012	6,677
純資産合計	5,744,280	5,537,886
負債純資産合計	10,466,536	11,072,735

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	5,139,084	5,826,648
売上原価	2,288,860	2,623,296
売上総利益	2,850,223	3,203,351
販売費及び一般管理費	2,616,749	3,062,734
営業利益	233,474	140,617
営業外収益		
受取利息	3,333	3,161
受取手数料	5,367	－
その他	3,240	4,400
営業外収益合計	11,942	7,562
営業外費用		
支払利息	8,021	9,745
その他	869	3,540
営業外費用合計	8,890	13,286
経常利益	236,525	134,893
特別損失		
減損損失	150,810	148,836
固定資産除却損	8,904	1,075
その他	222	49
特別損失合計	159,938	149,960
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	76,587	△15,067
法人税、住民税及び事業税	85,149	99,603
法人税等調整額	9,756	△42,336
法人税等合計	94,906	57,266
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△18,318	△72,333
四半期純損失（△）	△18,318	△72,333

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△18,318	△72,333
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,218	△334
その他の包括利益合計	1,218	△334
四半期包括利益	△17,100	△72,667
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,100	△72,667
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	76,587	△15,067
減価償却費	393,281	530,160
賞与引当金の増減額（△は減少）	△38,732	△1,664
受取利息及び受取配当金	△3,333	△3,161
支払利息	8,021	9,745
減損損失	150,810	148,836
固定資産除却損	8,904	1,075
その他の損益（△は益）	711	△418
売上債権の増減額（△は増加）	28,427	49,188
たな卸資産の増減額（△は増加）	△19,029	△8,360
その他の流動資産の増減額（△は増加）	4,134	△21,231
仕入債務の増減額（△は減少）	44,430	△122,613
前受金の増減額（△は減少）	152,049	183,831
未払金の増減額（△は減少）	△86,517	△34,073
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△18,234	6,393
その他の固定資産の増減額（△は増加）	△1,282	△29,745
その他の固定負債の増減額（△は減少）	551	2,458
小計	700,781	695,355
利息及び配当金の受取額	3,333	3,161
利息の支払額	△8,870	△9,768
法人税等の支払額	△447,981	△423,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	247,262	265,135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△689,180	△850,153
無形固定資産の取得による支出	△47,716	△88,341
差入保証金の差入による支出	△51,909	△42,343
差入保証金の回収による収入	160	923
その他の収入	－	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△788,646	△979,872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	400,000	800,000
長期借入れによる収入	1,100,000	830,000
長期借入金の返済による支出	△340,438	△522,990
配当金の支払額	△132,454	△133,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,027,107	973,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	149	△83
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	485,873	258,725
現金及び現金同等物の期首残高	938,222	1,004,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,424,096	1,263,454

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。